



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月10日

上場会社名 東洋刃物株式会社

上場取引所 東

コード番号 5964 URL <http://www.toyoknife.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清野 芳彰

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 久保 雅義

TEL 022-358-8911

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	1,211	0.3	63	23.4	54	59.0	28	6.5
29年3月期第1四半期	1,208	4.6	51	358.8	34	—	26	—

(注)包括利益 30年3月期第1四半期 40百万円 (634.9%) 29年3月期第1四半期 5百万円 (△49.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	18.59	16.60
29年3月期第1四半期	17.00	15.30

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	6,379	1,565	24.5	1,018.34
29年3月期	6,314	1,524	24.1	991.86

(参考)自己資本 30年3月期第1四半期 1,563百万円 29年3月期 1,522百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年3月期	—				
30年3月期(予想)		—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,450	△3.3	120	4.9	100	97.2	90	149.8	57.14
通期	5,050	1.5	240	△18.2	200	△3.8	170	△36.1	108.91

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期1Q	1,577,300 株	29年3月期	1,577,300 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

30年3月期1Q	42,340 株	29年3月期	42,340 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期1Q	1,534,960 株	29年3月期1Q	1,575,072 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在における入手可能な情報及び将来の業績に与える不確定な要因に係る仮定を前提としています。実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P2
(1) 経営成績に関する説明	P2
(2) 財政状態に関する説明	P2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P2
2. 四半期連結財務諸表	P3
(1) 四半期連結貸借対照表	P3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P7
(継続企業の前提に関する注記)	P7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P7
(セグメント情報等)	P7
(重要な後発事象)	P8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益が回復基調で推移し、設備投資も底堅く雇用や所得情勢も堅調であり、個人消費も持ち直しております。海外経済は、中国の回復に一服感が見られるものの、米国やユーロ圏では、民間需要に支えられ個人消費は堅調に推移しており、総じて回復基調と判断されますが、米国の新政権の政策動向による影響は、引き続き懸念される状況にあります。

当社グループにおきましては、事業ポートフォリオの再構築及び仕入れの強化、短納期・少量多品種を強みとする生産体制の構築、資本政策と財務基盤の強化を重点課題に掲げ取り組んでおります中期経営計画の2年目である当第1四半期連結累計期間は、合板用刃物や産業用機械及び部品に減少はあったものの、主力の情報産業用刃物は堅調に伸び、鉄鋼用刃物、製紙パルプ用刃物、その他刃物関連も好調であり、前期末の受注状況を反映した大幅な売上減があった緑化造園を補い、当第1四半期連結累計期間における売上高は、12億11百万円（前年同四半期比0.3%増）となりました。損益面におきましては、改善活動を進めるなかで品種構成にともなう収益性の向上や各種経費の削減に一定の効果があり、営業利益63百万円（前年同四半期比23.4%増）、経常利益54百万円（前年同四半期比59.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益28百万円（前年同四半期比6.5%増）となりました。

ア) 機械刃物及び機械・部品

当セグメントにおきましては、主力の情報産業用刃物は好調に推移し、鉄鋼用刃物、製紙パルプ用刃物、その他の刃物関連も堅調であり、合板用刃物や産業用機械及び部品に減少はあったものの売上高10億98百万円（前年同四半期比4.9%増）、セグメント利益1億51百万円（前年同四半期比21.9%増）となりました。

イ) 緑化造園

当セグメントにおきましては、管理業務の継続受注は確保したものの、造園工事関連の前期末における受注減の影響もあり、売上高1億13百万円（前年同四半期比29.7%減）となり、セグメント利益は4百万円（前年同四半期比57.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1.2%増加し、44億40百万円となりました。これは主として電子記録債権の増加などによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.8%増加し、19億38百万円となりました。これは主として機械装置及び運搬具などの有形固定資産の増加などによるものです。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて1.0%増加し、63億79百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて2.5%増加し、28億2百万円となりました。これは主として支払手形及び買掛金の増加などによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて2.1%減少し、20億11百万円となりました。これは主として長期借入金の減少などによるものです。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて0.5%増加し、48億14百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2.7%増加し、15億65百万円となりました。これは主として利益剰余金の増加などによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月12日発表の通期の業績予想に変更はありません。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確定な要因に係る仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,947	1,935
受取手形及び売掛金	1,120	1,111
電子記録債権	338	390
製品	173	229
仕掛品	393	358
原材料及び貯蔵品	301	313
繰延税金資産	95	83
その他	21	20
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	4,390	4,440
固定資産		
有形固定資産	1,403	1,407
無形固定資産	7	7
投資その他の資産		
投資その他の資産	525	540
貸倒引当金	△12	△16
投資その他の資産合計	512	524
固定資産合計	1,924	1,938
資産合計	6,314	6,379
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	588	601
短期借入金	1,708	1,698
未払法人税等	31	15
賞与引当金	79	32
その他	324	453
流動負債合計	2,733	2,802
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	200	200
長期借入金	860	825
繰延税金負債	19	21
退職給付に係る負債	919	911
役員退職慰労引当金	19	20
環境対策引当金	19	19
その他	15	13
固定負債合計	2,055	2,011
負債合計	4,789	4,814

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	500	500
資本剰余金	354	354
利益剰余金	741	769
自己株式	△31	△31
株主資本合計	1,564	1,593
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	79	85
為替換算調整勘定	13	16
退職給付に係る調整累計額	△135	△131
その他の包括利益累計額合計	△42	△30
非支配株主持分	2	2
純資産合計	1,524	1,565
負債純資産合計	6,314	6,379

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	1,208	1,211
売上原価	896	864
売上総利益	311	347
販売費及び一般管理費	260	283
営業利益	51	63
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	2	2
持分法による投資利益	0	-
固定資産賃貸収入	2	2
その他	4	1
営業外収益合計	10	7
営業外費用		
支払利息	19	12
持分法による投資損失	-	0
その他	8	3
営業外費用合計	27	16
経常利益	34	54
税金等調整前四半期純利益	34	54
法人税、住民税及び事業税	7	13
法人税等調整額	△0	12
法人税等合計	7	25
四半期純利益	26	28
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	26	28

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	26	28
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10	5
為替換算調整勘定	△7	△3
退職給付に係る調整額	5	3
持分法適用会社に対する持分相当額	△8	6
その他の包括利益合計	△21	12
四半期包括利益	5	40
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5	40
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		
	機械刃物及び機械・部品	緑化造園	計
売上高			
外部顧客への売上高	1,046	161	1,208
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	1,046	161	1,208
セグメント利益	124	9	133

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	133
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△82
四半期連結損益計算書の営業利益	51

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		
	機械刃物及び機械・部品	緑化造園	計
売上高			
外部顧客への売上高	1,098	113	1,211
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	1,098	113	1,211
セグメント利益	151	4	155

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	155
セグメント間取引消去	0
全社費用(注)	△92
四半期連結損益計算書の営業利益	63

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。